

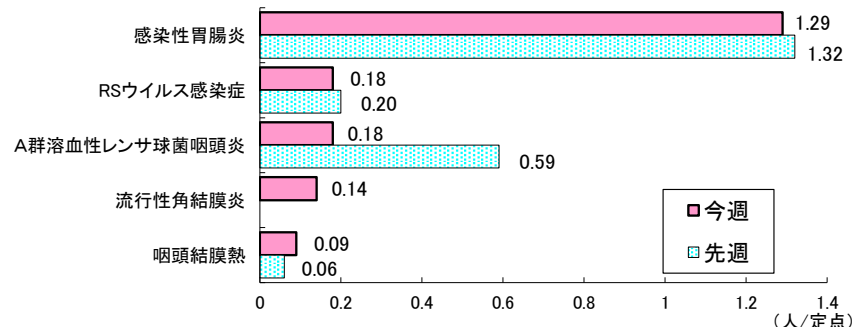


【第35週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で2%減少しています。保健所別では、能代、秋田中央、大仙で増加、北秋田、横手で同規模、秋田市、大館、湯沢で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で10%減少しています。保健所別では、秋田市、由利本荘で増加、大館、秋田中央、横手、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で69%減少しています。保健所別では、横手で同規模、秋田市、大館、大仙、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減			
RSウイルス感染症	0.20	0.18	↘	0.14	0.71	↗	0.25		↘						0.25		↘		0.25	↗				0.67		↘	0.67		↘	
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.09	↗		0.14	↗	0.25		↘						0.25		↘		0.25	↗		0.25	↗							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.18	↘	0.29		↘	1.75	0.25	↘												1.50	0.50	↘	1.00	1.00		0.67		↘	
感染性胃腸炎	1.32	1.29	↘	1.86	1.71	↘	1.25	0.75	↘	0.50	0.50		2.33	3.33	↗	1.50	1.75	↗			0.75	1.25	↗	0.67	0.67		2.67	1.33	↘	
水痘	0.12	0.06	↘												0.50	0.25	↘	0.25	0.25								0.33		↘	
手足口病	0.06	0.09	↗					0.25	↗					0.33	↗						0.50		↘		0.25	↗				
伝染性紅斑	0.03	0.03													0.25	0.25														
突発性発しん	0.15	0.09	↘	0.29		↘	0.25	0.25			0.50	↗							0.25	0.25	0.25		↘							
ヘルパンギーナ	0.06	0.03	↘					0.25	↗										0.50	↘										
流行性耳下腺炎		0.03	↗					0.25	↗																					
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗								1.00	↗				*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から38人、大館保健所管内から4人、能代保健所管内から7人、秋田中央保健所管内から8人、由利本荘保健所管内から8人、大仙保健所管内から18人、横手保健所管内から1人、湯沢保健所管内から7人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-34週		35週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10096	53	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	7		
	腸管出血性大腸菌感染症	1914	14	
	腸チフス			
四類	パラチフス			
	E型肝炎	304		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	47		
	エキノкокクス症	18		
	黄熱			
	オウム病	7		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	85		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
炭疽				

類型	疾患名	1週-34週		35週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	136	1	
	デング熱	4		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	254		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	14		
	野兔病			
	ライム病	16		
	五類	リッサウイルス感染症		
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症		1209	11	1
レプトスピラ症		8		
ロッキー山紅斑熱				
アメーバ赤痢		349	2	
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		123	1	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1197	23	
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		13		
急性脳炎		225		
クリプトスポリジウム症		4		
クロイツフェルト・ヤコブ病		113		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		389	3	
後天性免疫不全症候群		675	1	
ジアルジア症		24		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		132	1	
侵襲性髄膜炎菌感染症		2		
侵襲性肺炎球菌感染症		906	7	
水痘(入院例に限る)	176	3		
先天性風しん症候群	1			
梅毒	4525	29		
播種性クリプトコックス症	88			
破傷風	58			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	83			
百日咳	405	4		
風しん	8			
麻しん	3			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2			
* 新型コロナウイルス感染症		1428	91	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<劇症型溶血性レンサ球菌感染症について>

秋田県内では、第35週までに劇症型溶血性レンサ球菌感染症が3人報告されています。劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数は、昨年はやや減少したものの全国的には増加傾向にあります(図)。急激に病状が進行して重篤化する疾患のため、注意が必要です。

■原因

レンサ球菌を原因とする感染症です。劇症型溶血性レンサ球菌感染症では、傷口やのどの粘膜から通常は細菌が存在しない血液や筋肉などにレンサ球菌が侵入し、増殖していきます。ただし、実際の感染経路は不明な場合も多く、詳細は分かっていません。

■症状

初期症状として、発熱や悪寒などの風邪に似た症状、手足の強い痛み、創部の発赤や腫脹などがみられる場合が多いとされています。その後、急激に症状が進行し、筋肉周辺組織の壊死を起こし、血圧低下や多臓器不全からショック状態に陥り、発病後数十時間で死に至る場合もあります。

■治療

医療機関における集中治療室での管理が必要です。重篤化のリスクを下げるため、早期に抗菌薬を用いた治療を開始することが重要です。

傷口は清潔に保ち、創部の発赤や腫脹、手足の痛み、発熱等の症状から感染が疑われる場合には、直ちに医療機関を受診してください。

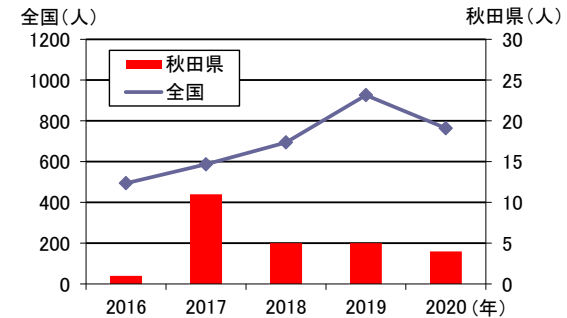


図 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者報告数の推移

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症集団発生1件、かぜ様症状集団発生3件の報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児	職員	計		
RSウイルス感染症	大仙市	大曲中央こども園	8/31	168名のうち17名	31名のうち0名	17名	8/18 ~ 8/31	発熱、咳
かぜ様症状	大館市	扇田保育園	8/30	84名のうち19名	36名のうち0名	19名	8/21 ~ 8/30	発熱、咳、鼻汁、咽頭痛
	大館市	下川浴保育所	8/30	22名のうち11名	10名のうち0名	11名	8/22 ~ 8/30	発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、下痢
	北秋田市	鷹巣中央保育園	9/3	106名のうち17名	29名のうち0名	17名	8/29 ~ 9/3	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		